

軟質氣比10—0

福井高専

| 【高 専】打安点 |        |
|----------|--------|
| ⑧ 平山     | 2000   |
| ⑦ 井内     | 2000   |
| ⑥ 4 成    | 3210   |
| ⑤ 岩下     | 2100   |
| ④ 山本     | 2000   |
| ③ 野口     | 2000   |
| ② 山本     | 2210   |
| ① 伊藤     | 2200   |
| ① 山本     | 2000   |
| H5 新     | 1000   |
| 振球 繼     | 1000   |
| 522      | 041820 |

|           |                |
|-----------|----------------|
| 【気比】打安点   |                |
| 久仲丸佐久栗宮熊竹 | 22111111003333 |
| 家塾木野保山崎谷内 | 44432211112333 |
| 振球構併殺     | 4100732179     |

|       |              |
|-------|--------------|
| 投手    | 安振球          |
| 伊藤    | 5 1/3 17 4 1 |
| ..... | .....        |
| 佐野    | 6 2 5 2      |

▽三塁打 佐野▽  
二塁打 佐野、栗  
山、仲埜▽盗塁  
気比5▽失策 高  
専1▽暴投 気比  
1

敦賀気比

序盤に  
大量点  
高専、逸機響く

## ▼準々決勝

| 高専   | 気比   |
|------|------|
| 3000 | 3410 |
| 1000 | 111x |

100

(六回コールド)

【評】敦賀気比が序盤に大量リードを奪い福井

高専を寄せつけなかった。敦賀気比は初回、佐野、栗山の適時打などで3点先制。二回は中前打の早を二塁に置き仲埜、丸木、佐野、久保の連続適時打で4点を奪い主導権を握った。先発佐野は散発2安打に抑える好投をみせた。

を戦い「10年分の経験」になったというわけだ。奥村監督は「8強に残れて自信になったはず」と話す。それでも主戦伊藤は「納得のいく投球ができなかった」。山本純主将は「勝つ気でいたし、もっと試合がしたかった」と次の旋風を誓った。

仕上がりまだまだ

一、三塁としたが得点ならず。四回も三塁まで進んだが攻め切れなかった。

(石井)

◎：敦賀気比の丸木主将は「チームの仕上がりはまだまだ」と大勝にも気を引き締めた。捕手とし

(石井)

10年分経験できた

⑬：秋初の準々決勝を  
戦った福井高専の奥村監  
かり守ってリズムをつ  
くっていきたい」と話した。